

PTA 会員のみなさま

令和 3 年 3 月 吉日
島 本 町 立 第 二 中 学 校
P T A 会 長 河 合 澄 恵

令和 2 年度の PTA 会費について

日頃は PTA の活動にご理解とご協力をありがとうございます。令和2年度はコロナ禍の中、例年通りの PTA 活動が出来ず予算が多く余ってしまうのではないかと、各会員さまへ何らかの形で還元することを検討しておりましたが、学校へお渡ししている教育研究推進費と生徒福祉増進費に余裕があるということで、先生方と相談の結果、今の子どもたちの学校生活に必要な備品を購入することにいたしました。

【主な購入品】

- スピーカー×1 台
- マイク×1 本
- CD ラジカセ×11 台
- リスニング用 CD ラジカセ×1 台
- 足踏み式消毒液スタンド×4 台
- スポットクーラー×1 台

PTA の行事はほとんど行われませんでした、PTA の活動そのものに多額の費用がかかる訳ではなく、例えば保護者向け講習会などのいきふれ行事には町からの「いきふれ予算」が出るため、PTA 会費は使われていません。アンケートでも「会費の多くは講習会に使われていると聞いた」とのご意見がありましたが、二中 PTA の予算の多くは教育研究推進費(学校の予算では賄えない、子どもに還元できる教材や備品の購入)や生徒福祉増進費(生徒会やクラブの活動費、卒業記念品費)として、学校にお渡ししています。(詳しくは決算報告書をご覧ください。)

ですから、おまつりなどにたくさんの予算を必要とする小学校と違い、今年度の PTA 行事がなかったからといって、PTA 運営の手元に多額の会費が残っている訳ではありません。しかしそのようなことは、私たち運営役員も PTA 運営に携わって初めてわかったことで、「私たちが支払った会費がどのように使われているのか？」ということにいかに関心であったか、知ろうとしなかったか、と反省するところでもありました。会費については「1 家庭 1 口が良い」「教材や備品の購入は会費から出すべきではない、出すなら全家庭が出すべきである」など様々なご意見があります。来年度以降の課題として考えていきたいと思えます。一年間ご協力ありがとうございました。